

## 1 回答者 利用者 98 名、聾学校児童・生徒 44 名、情報機器 31 団体 合計 142 名、31 団体

昨年度は回答者の過半数が 10 代以下を占めた理由から、今回は聾学校の児童・生徒とそれ以外の利用者に分けて調査を行った。利用者 98 名、児童・生徒 44 名の回答があった。また、情報機器貸出の利用者のほとんどが団体であるため、情報機器のみ障害者関係団体を対象に調査を行い、31 団体からの回答があった。合計 142 名と 31 団体であり、目標 100 名を上回る回答をいただいた。

## 2 利用者からの回答（回答数 98 名）

DVD 貸出については、80%が借りたことがあると回答し、このうちのほとんどが見たいDVDを借りることが出来ている。貸出期間の 2 週間は、ちょうどよいが多く、続いて短いとの回答もあった。

DVDを借りたことのない理由では、昨年度と同様に家庭でのテレビやインターネット、レンタル店での借用で十分との意見が多かった。地上波放送も IPTV も字幕で番組等を見ることができるようになってきているが、ライブラリー事業の強み（手話を付与した番組、障害者に関する番組など）を積極的に PR していかなければならないと考える。

生活相談では、相談したことのない方が 80%を占めている。相談しない理由として、「相談出来る相手がいる」など身近に相談相手がいるとの回答が多数であるが、「相談できることを知らなかった」との回答も多くあった。相談についてリーフレットを作成し周知を図ったが、更なる工夫が必要である。相談した方からの回答では、相談して「良かった」以上の回答がほとんどである一方「良くなかった」との回答もあり残念である。

職員の対応やコミプラ室内及び全体サービスについては「普通」以上の評価をいただいている一方で、広報誌やホームページについて見たことが「ない」と回答した方が半数もいた。ホームページや広報誌を通して初めてコミプラを知り問い合わせする方がいるので、多くの県民にコミプラの事業を知っていただく機会を増やす取り組みをしなければならぬと感じている。

## 3 聾学校児童・生徒からの回答（回答数 44 名）

DVD貸出については、57%が借りたことがあると回答し、このうちの 70%が見たいDVDを借りることが出来ている。聾学校への移動ライブラリーは定期的実施しているが、半数以上の児童・生徒が次回の貸出日がわからないとの回答があった。貸出受付の場で次回の貸出日を掲示する工夫をし、児童・生徒に周知していきたい。

また、児童・生徒の番組視聴についてもアニメや映画だけでなく YouTube、TikTok などインターネットを介して観る傾向があることがわかった。引き続きリクエストを聞き、児童・生徒が観たい番組を拡充していきたい。

## 4 情報機器について聴覚障害関係団体からの回答（回答数 31 団体）

回答いただいた中で借りたことのある 11 団体すべてが、借りた機器に対して役に立ったと回答している。ただ、機器に対して操作や調整に手間取るので良い方法があればありがたい、HDMI 用 VGA 交換アダプタの接続部のネジがないため抜けてしまう不安があるなど、機器や付属品の操作や不良を心配する団体もあった。利用者が安心して機器を利用できるよう工夫をしなければならない。